

文学館だより

令和 6年10月 1日
 若山 牧水記念文学館
 TEL 0982-68-9511
 文 貴 日 高 第102号

第74回牧水祭 快晴のもと開催

9月17日は若山牧水の命日でした。牧水の生誕地坪谷では牧水祭を今年も滞りなく執り行うことができました。今年も早朝より名カメラマンが密着取材されており、3日後には直筆壁新聞が文学館に届けられました。事務局が撮りきれないコーナーがたくさんあり、ただただ頭が下がります。この大作は、早速、文学館に掲示させていただきました。圧巻です。お近くの方、どうぞお立ち寄りいただき、実物をご覧ください。ホームページにも掲載していますので、拡大してどうぞゆっくりご覧ください。



くろぎなおゆき
 顕彰会会員黒木直行さん、毎年ありがとうございます。



生家横での歌碑祭を前に、主催者、若山家親族らは裏山歌碑に登り献酒をします。10年前まではここで歌碑祭が行われていました。



歌碑祭を前に祭壇が飾られ、今年も清酒が多く並びました。牧水を偲んで参加者たちは夫婦歌碑に酒を注ぎます。



第2部牧水を偲ぶ会は、牧水の母校日向市立坪谷小学校全校児童による牧水の歌斉唱で幕を開けます。



伊藤一彦館長と歌人吉川宏志氏が牧水の歌について対談しました。吉川氏は東郷町越表に生まれ、若山牧水賞を受賞された縁深き方です。

「ヒュー！日向 マatching短歌交流会」 文学館に集う

投稿歌に返歌が投稿されるとその時点でマatching成立となる「ヒュー！日向 マatching短歌」（主催 日向市）の最終回となる交流会が9月14日（土）若山牧水記念文学館を会場に開催されました。



【 市民とマatching賞 】

投稿歌

あの人の笑った顔がみたいから渡しに行こうひょっとこもなか
日向市 秋田屋4代目おかみ 内田かすみさん(写真右)

返歌

先輩はその頬に詰めこみながらなかなかいけるなって笑った
山梨県甲府市 三井 幸乃さん(写真左)

実は・・・個人的にも秋田屋さんには寄らせてもらっていますが(笑)、おかみ内田さんは坪谷出身で、日常に牧水や短歌があったと言います。
そして・・・返歌を詠まれた方は、なんと牧水・短歌甲子園出場者でした。当時文学館にも見学に来られており、現在は「みなと」所属。文学館の「みなと」展にも出展いただいていた方でした。短歌でマatchingしたお二人が文学館と縁ある方でびっくりしました。

牧水先生の授業に行ってきました

9月25日(水)

日向市立日知屋小学校第3学年「総合的な学習の時間『若山牧水』の学習」に行ってきました。日知屋小学校は3年生で若山牧水の学習に取り組み、これまでは調べ学習を重ね、これからまとめに入る直前の時間とのことでした。

ぼくすい
牧水はかせになろう

めあて 発 見 若山牧水について新しい発見がある
きょうみ 若山牧水についてもっと知りたいと思う

を掲げ、繁時代を中心に伝えてきました。

- ◎ 牧水かるた 50年の歴史を伝え、8月に行われた牧水かるた大会団体戦で優勝、準優勝、3位を独占した日知屋小学校を讃えました。
- ◎ 牧水は来年で140歳になることを伝えました。
- ◎ 牧水は小学校1年次に3回転校していること、現在の坪谷小学校の牧水顕彰活動を伝えました。
- ◎ 繁時代のエピソードを伝えました。
 - ① 川遊び前の脱衣 友達は着物を脱ぎ捨てる中、繁(牧水)は下駄をそろえ、その上に畳んだ着物と帯を置き、小石で置き石をしていた。
 - ② 高等小学校時代の長旅 学校には母親が病気だと言い、金比羅参り、大阪見物に出かけた。
 - ③ 延中第1回卒業生 延岡中学校開設に伴い、高等小学校3年で受験し合格した。
 - ④ 延中時代の数学テスト 答案用紙には答えを書かずに大きな○を書き、その裏に、世の中は三角四角じゃ渡られぬとか丸くて事はおさまる と書いて提出した。数学教師からひどく叱られるが、校長先生はよくできた短歌だと褒めてくれた。
- ◎ 「牧水かるた」「命の碎片」「マンガ若山牧水」「日向市内の牧水歌碑」ほかを紹介しました。

初めましての私に対し、話を一生懸命聞いてくれて元気よく応えてくれました。牧水短歌でも、牧水かるたでも、何かひとつ心に引っかかってくれればうれしいという思いで話をしました。つぶやきが意外とうれしかったりしました。

牧水先生の一首

折に触れて出会う一首を紹介しています

降ればかくれ曇ればひそみ晴れて照るかの太陽をこころとはせよ
ふればかくれ くもればひそみ はれててる かのたいようを こころとはせよ

この歌の半切は、牧水長男^{たびと}旅人の箱書とともに、現在宮崎県立図書館に收藏されている。歌集未収録歌とあり、大変貴重な一首である。9月1日に出版された伊藤一彦著『若山牧水の百首』の100番目に収められている。「書はもちろん、歌の調べと内容がすばらしい。牧水の豊かだった人生を思うとき、まさにこのような『太陽をこころ』とした生き方だったことに深い感銘をおぼえる。」と伊藤館長は鑑賞している。